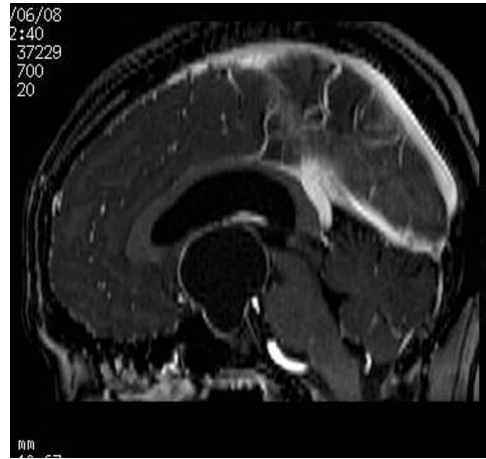


頭蓋咽頭腫について

発症年齢(小児期または成人期)により腫瘍の増大、再発が異なる腫瘍であり、また嚢胞性腫瘍か、あるいは充実性腫瘍かによっても術後経過は異なってきます。初期治療では可能な限り手術的に全摘出を目指します。残存腫瘍の大きさと形状により放射線療法(ガンマナイフ療法)の追加を検討します。

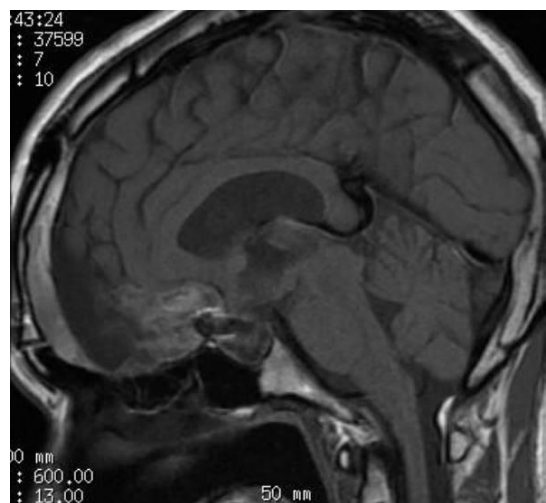


術前CT



術前MRI

両側前頭開頭による前頭蓋底大脳半球間裂アプローチ(fronto-basal interhemispheric approach)により嚢胞性頭蓋咽頭腫の全摘出術を行いました。



術後MRI